

浜田市議会議長様

浜田市の公共施設再配置について、総量での進捗管理と推移の発表を求める陳情

浜田市では平成 28 年度からの 6 年間で計画期間として、第 1 期公共施設再配置実施計画を策定し、取り組んできました。また、続く令和 4 年度から令和 7 年度の 4 年間で計画期間として、第 2 期公共施設再配置実施計画を策定しています。

公共施設再配置実施計画を策定した経緯は、浜田市の平成 25 年時点のハコモノ（延べ床面積約 40 万㎡）を将来（40 年後）同程度の規模で建て替えようとした場合、財政的に約 7 割しか更新できないのではないかという試算が出たため、40 年かけて統廃合や譲渡等により、40 万㎡を 3 割程度削減するというものです。

令和 3 年 1 2 月議会に於いて、この第 1 期公共施設再配置実施計画（令和 3 年 1 0 月時点）の進捗状況について執行部が資料を作成して報告なさっていますが、① 1 期計画期間中に終了する目標の施設数 153 に対して終了した 105 施設を示し、達成率 68.6%、② 計画に載っている施設の削減目標面積（27,936 ㎡）に対して実際の削減面積（18,969 ㎡）を示し、達成率を 67.9%としています。そして、③ 将来更新投資額については、6 年間での削減目標額（6,701 百万円）に対して実際に削減した額（5,045 百万円）を示し、達成率 75.3%とし、④ 維持管理費の削減額は目標 99,274 千円に対し 86,689 千円削減できたとし、達成率 87.3%としています。

第 1 期計画期間は 6 年なので約 19,000 ㎡を削減したことにより、40 年間での削減目標面積 12 万㎡の約 15.8%（ $19,000 \div 120,000 \times 100 = 15.83$ ）を削減し、ますます順調に減っているはずですが。

しかし、浜田市は平成 27 年 4 月からの 6 年でハコモノを約 19,000 ㎡以上を削減しながら、約 18,600 ㎡以上の新規整備や取得を行っており、ハコモノの総量や維持管理費、将来更新投資額は実はあまり減っていないと思われます。当初の計画に載っている施設についてのみ、削減の進捗管理や報告をしているためこのような達成率の説明になっています。計画期間中の新規整備や取得による増加分を即時に計画の施設総量に反映し、常に総量での実態を解りやすく資料にしなければ、6 歩進んで 5 歩下がっていても、進んだ 6 歩だけ報告している状態で、「総量が目標の規模にどのように近づいているのか」が見えない進捗管理と報告の仕方になっています。

ハコモノを 40 年かけて 3 割減らすというなら、公共施設再配置実施計画に、年毎の市のハコモノの総数、延床面積合計、年間維持管理費合計、将来更新投資額合計、市民一人当たりの保有面積、といった数値目標を示し、これらが右肩下がりに減っていかねばなりません。

市議会で「スクラップフォービルドでは駄目で、スクラップ、スクラップ、スクラップフォービルドくらいでやりたい。」といった執行部の発言が何度もありますが、直近 7 年では減らした分だけ増やしています。市民一人当たりのハコモノ面積は、平



成 27 年度の 6.8 m²から 6 年経って 7.4 m²に増えており、公共施設再配置実施計画どおりに削減できたとしても、40 年経った時の市民一人あたりのハコモノ面積は 10 ～11 m²に増えると思われます。これは、市民サービスが徐々に向上することを意味しており、残る公共施設を利用する市民が現在の半分になるイメージです。総量で目標に確実に近づくような進捗管理をしなければ、このまま将来世代につけを回し続けることとなります。

市が公共施設再配置の進捗について年次報告される場合、その年度に新規整備や取得した施設も含め、施設数、総面積、市民一人あたり保有面積といった重要な数値についても、総量の推移がわかるような報告と進捗管理が行われるよう、執行部に働きかけてくださいますようお願い申し上げます。

浜田市国分町 1 6 8 9 - 1

三島 淳寛

